

指導方法等の改善計画について〔数学科〕

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 69.8%, 県 69.7%)

対県比 100.1%

学力定着実態調査 本年度正答率

本校 71.9%
全国 71.9%

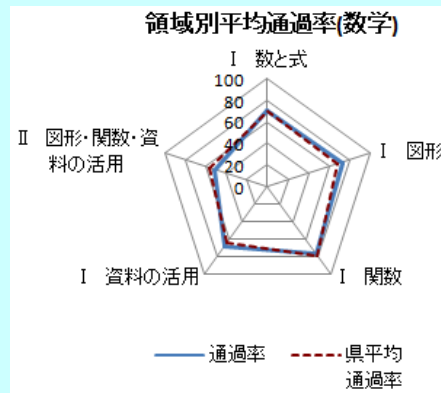
対全国比 100%

本年度の結果について

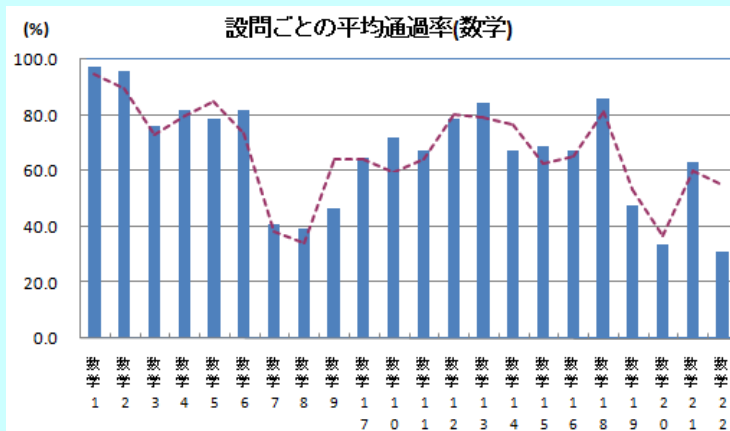
文字式で考える、関数での事象、資料を活用した問題など、日常で考える事ができる事象を考えることが全体的に苦手である。具体的に考え、文字で表し、また具体的に考えることが上手くできていない。答えばかりを求めようとして、その作業を苦手とする生徒がいる。

より日常に着目させ実感を持たせる工夫を行えるように指導し、興味を持たせ基礎基本の定着を図る。

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率

A問題

本校 55.7%
全国 62.2%
県 62.1%

B問題

本校 36.7%
全国 44.1%
県 44.8%

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比 100%

重点課題

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】(正答率 46.5%) (対県平均-17.6%)

「文字式の読み」について、文字式の和で表されている部分と積で表されている部分の意味を理解できていない。

【課題2】(正答率 31.0%) (対県平均-23.7%)

「情報の適切な選択と判断」について、グラフを見て比較する問題で、グラフに注目して解答できていない。グラフの見方が分かっていない。

全国学力・学習状況調査

【課題1】(正答率 27.6%) (対県平均-6.0%)

「数量の関係を文字式に表す」について、商、余りの数など小学校で学習した内容を考えることができていない。

【課題2】(正答率 36.2%) (対県平均-8.1%)

「 x の変域に対応する y の変域を求める」について、変域を正しくとらえることができていない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】目標値(60%) 実施後数値()%

文字式で表す場面で、具体的な数で考えさせ、文字に置き直させる。作った文字式の1つ1つの単項式の意味を読み取らせ、定着を図る。

【課題2】目標値(50%) 実施後数値()%

具体的な事象を考えるときに、用いた物、用い方をきちんと確認して説明させる。授業で説明する場面を設定し、ペアやグループで説明し伝え合う活動を取り入れる。

全国学力・学習状況調査

【課題1】目標値(40%) 実施後数値()%

分数で表すことが苦手な生徒が多く、具体的な数で考えさせ、文字に置き直させる。

【課題2】目標値(50%) 実施後数値()%

関数の学習を通して、具体的な事象で、変域の意味を考えさせる。

※今後の改善計画については別紙